

遠賀

No.178 2025. 4.25

おんがちょう
発行／福岡県遠賀町議会

議会だより



3月定例会

令和7年度予算可決 ○ ○ ○ 2

議員定数削減可決 ○ ○ ○ 8

委員会レポート ○ ○ ○ 11

一般質問 ○ ○ ○ 12

活動報告 ○ ○ ○ 14

傍聴者の声 ○ ○ ○ 15

若者と議会の懇談会 ○ ○ ○ 16

若者と議会の懇談会

「もっと知りたいばい！遠賀」バスツアー

令和7年3月19日（水）

遠賀中学校の3年生5人、遠賀南中学校の2年生5人、引率の教諭1人が参加し、議会の活動や町の取り組みについて学びました。最後に議場にて、議員やおんがっぴーとの記念撮影を行いました。

詳細は16ページ（裏表紙）へ

107億円!

暮らしを豊かに



3月 定例会

3月3日から21日までの19日間開催
されました。

戸別受信機を 全戸へ配布

6億178万円

災害時の情報や地域情報を町民へ確実に伝達するため室内に設置し、情報を家の中で聴いたり、文字で確認したりできる受信機を町内全戸へ配布するもの。



無料で配布(貸与)される戸別受信機

遠賀川駅南側に 安心・安全に

9億3970万円

土地区画整理事業が進められている駅南地区において、道路や水路などのインフラを整備するもの。

災害対策本部を 2階へ

1億9444万円

内水氾濫等による浸水時の災害対策本部機能を維持・強化するため、現在庁舎の1階にある指揮命令部署や防災情報システムを庁舎2階に整備・集約するもの。

小学校の水泳授業 を町内スクールへ

817万円

全小学校の水泳授業を町内のスイミングスクールで実施し、安全かつ効果的に泳力の上達を図るもの。



田園のスイミングスクール

デマンドバス 運行開始

1143万円

交通不便対策とコミュニティバスの便数不足を補うため、おんが自動車学校の送迎バスを活用し、乗合方式のデマンドバスの有償実証運行を開始するもの。
(令和7年9月1日から開始予定)



みんなの生活を支えるデマンドバス

給食費を 半額補助

3206万円

保護者の経済的負担を軽減するため、町内小中学校

あけぼの 歩道橋撤去

1億1316万円

JR鹿児島本線を跨ぐ歩道橋が老朽化しているため、令和9年度の撤去に向けて迂回路を整備するもの。



撤去予定のあけぼの歩道橋



栄養バランスのとれた給食

に通う児童生徒の給食費半額を補助するもの。

令和7年度 一般会計当初予算

過去最大の予算規模で町民の



オープン初日に参加したこどもたち(浅木)



浅木のふれあいこども食堂

町内3箇所のこども食堂の安定的運営を支援するもの。なお、4月から、ふれあいの里(浅木小学校区)で新規開設され、全小学校区で展開されている。

54万円

こども食堂支援



遠賀川のえがお食堂

こどもが家庭以外でも安心して過ごせるよう、食事や学習・体験などを提供するこどもの居場所の安定的運営を支援するもの。

160万円

こどもの居場所づくり支援



別府のちくようごはん

一般会計・下水道事業会計・特別会計の前年度との予算比較

(万円未満四捨五入)

会計名		令和7年度 (当初予算)	令和6年度 (当初予算)	増減率
一般会計		107億6327万円	82億2152万円	30.92%
下水道事業	(収益的)	6億4948万円	6億 642万円	7.10%
	(資本的)	7億9530万円	5億3904万円	47.54%
特別会計	国民健康保険事業	22億2711万円	22億4200万円	▲0.66%
	住宅新築資金等貸付事業	0万円	806万円	▲100%
	遠賀霊園事業	1億4732万円	1億7059万円	▲13.64%
	土地取得	317万円	296万円	7.09%
	後期高齢者医療	4億7850万円	4億5244万円	5.76%

予算特別委員会

こんな質疑がありました



令和7年度一般会計予算は、議員全員で構成する
予算特別委員会を設置し、審査を行いました。

(賛成多数可決)

町長施政方針 教育施策要綱 一般会計予算 質疑

Q 小中学校の図書館司書
およびそれに準じる人
の配置状況はどうなってい
るのか。また、司書資格者
の確保が難しいと思うが、
図書に精通した人を採用し
ているのか。

A 各小中学校に「図書整
理員」として一人ずつ
配置している。司書資格を
有する人の確保が難しくな
っているが、面接の際に図
書に詳しい人を選考し、整
理員として採用している。

Q 「国の西川改修による
今古賀地区の築堤等に
ついて早期完成を促すこと
で、町の将来的な負担を軽
減する」とあるが、昨年12
月に、町長と行った国土交
通省への要望活動をしたそ
の後の回答はきているのか。

A 西川においては、河口
から5・5 kmが国の直
轄区間で、その上流側が、
県の管理区間になっている。
河川の改修は下流から行
うのが基本的な考えで、下
流側の改修が残っていて、



撤去予定の旧室木線鉄橋と水管橋

JRの線路もあり、工事が
進んでいない状況であった。
河川内に町が占用届を出
している水管橋と、旧室木
線のJR橋があり、本来は
町が撤去するものであり、
7億円から8億円の予算が
必要である。議会からも町
の将来的な負担が減る案件
のため同行していただき、
関係先に要望を行った。
国との協議で国がその工
事を行うという方向で話が
まとまり、7億円から8億
円の予算を将来的に用意し
なくてよくなった。

Q 総合運動公園の照明設
備が壊れ、現在LED
投光器を代替で準備したと
のことだが、前回の質問時
点ではそのまま照明設備は
改修しないという説明だっ
た。実際に見に行くと、真
っ暗な中で子どもがサッカ
ーをしていたが、対処でき
ないのか。

A 総合運動公園の照明設
備は、ソフトボール場
は使用できるが、野球場は
使用できない。
現在の状況については、
前回の説明と同様、改修す
る予定はない。



暗い中サッカーの練習に励む子どもたち

Q 病児病後児保育について、令和5年4月から無償化になってどれくらい利用が増えたか。また、預けようとしたが断られた件数は何件か。

A 利用者数は、令和4年度が117人、令和5年度が164人、令和6年度が2月までで226人となっていて、無償化前より増加している。また、令和6年度の予約数が336件で、満室でお断りした件数が10件である。



おなが病院のぞうさんルーム



わなにかかったイノシシ

Q 農作物有害鳥獣駆除委託料について、前年と同額だが予算の額が長らく変わっていないと認識している。物価高騰や燃料費の上昇、鳥獣被害の増加などあらゆるものが増加傾向にあるが、増額の要望などはないのか。

A 近年物価高騰などがあるが、今のところ猟友会からは上乘せしてほしいなどの要望は上がっていない。

Q 浸水想定区域図の作成が義務付けられ、浸水シミュレーションを行うとともに、内水浸水想定区域の作成を行うとあるが、町民にどのように活用しようと考えているのか。

A 令和7年度を目標に、千年に一回程度の降雨量による内水想定をもとに、浸水区域や浸水深の情報をまとめた浸水想定区域図を作成するものだ。内水ハザードマップの作成や内水浸水対策事業の基礎資料として活用する。町民に対しては、新たにできたハザードマップなどを配布することになる。



Q 適応指導教室について、町内の登録者および指導者数は何人か。また、開催回数が週3回から4回になった経緯は。

A 遠賀町の登録者は11人、岡垣町の登録者は4人。指導者は1人、補助員が1人配置されている。当初、岡垣町から週5回開催の申し入れがあったが、コミュニケーションセンターが水曜日休館のため、岡垣町と協議の上、月・火・木・金の週4回開催とした。



適応指導教室が開催されている
コミュニティーセンター

Q 本町の職員採用試験は9月に実施されているが、民間企業の景気がよくなると賃金上がり人手不足の影響で応募者が減少する可能性がある。採用試験の時期を早めることで応募者を確保する考えは。

A 採用試験の時期や回数については、今後検討していく必要があると認識している。

Q 電子入札システムについて、県内22自治体が参加していると思うが、今後参加自治体は増えていくのか。また、増えた場合には負担金は減っていくのか。

A 現在、電子入札システムの負担金は22自治体で共同負担している。利用団体が増えれば負担金は減少する方向性にある。また、電子入札は社会的な流れでもあり、今後さらに増えていくと予測している。



遠賀町地域防災関係者研修の様子

Q 防災士の取得助成金について、これまで町の補助で資格を取得した防災士は何人いるか。また、その防災士の活動はどのようなになっているのか。

A 取得した防災士は59人。現在は横の連携を強化する段階であり、「防災士のあり方検討会」という形で防災士に呼びかけ、定期的な会議や活動を行えるよう、情報交換をしながら取り組みを進めている。

遠賀霊園の 集合型納骨施設を 視察しました



募集が始まった集合型屋外納骨施設

令和8年度から50年間、遠賀霊園が管理し、管理期間が終了した後は、納骨されている遺骨は遠賀霊園内に建立予定の合葬墓に改葬されるものです。お墓を管理してくれる親族が近くにいない場合や、後の世代にお墓の心配をさせたくない人など、安心して申し込みができる施設になっています。



合理的設計の納骨施設

令和7年3月6日、議員全員で構成される予算特別委員会の所管事務調査で、遠賀霊園集合型屋外納骨施設の視察に行きました。

人事案件

教育委員会教育長の任命

(全員一致同意)

令和7年1月1日から不在となっている教育長を新たに任命するもの。

神谷 潤 さん

(芦屋町)

●任期

令和7年4月1日から
令和10年3月31日まで



神谷教育長

職員懲戒審査委員会委員の
選任

(全員一致同意)

任期満了に伴い、新たに
選任するもの。

恵良 健史 さん

(北九州市)

任期満了に伴い、再度選
任するもの。

瀬井 公子 さん

(若葉台区)

牛草 英雄 副町長

(東和苑区)

●任期

令和7年4月1日から
令和9年3月31日まで

固定資産評価審査委員会委
員の選任

(全員一致同意)

任期満了に伴い、再度選
任するもの。

岡部 友和 さん

(福岡市)

久保田 進 さん

(広渡区)

波多野 宏和 さん

(北九州市)

●任期

令和7年4月1日から
令和10年3月31日まで

令和6年度補正予算 一般会計・下水道事業会計・特別会計予算

(万円未満四捨五入)

会計名		予算総額	補正額
一般会計		100億9625万円	3億9301万円
下水道事業	(収益的)	6億1316万円	343万円
	(資本的)	4億5831万円	▲8073万円
特別会計	国民健康保険事業	23億6031万円	1億1632万円
	遠賀霊園事業	1億5618万円	▲1452万円
	土地取得	304万円	9万円
	後期高齢者医療	4億5114万円	▲191万円

第7回目の補正予算は、3億9301万円を増額し、予算規模は100億9625万円になりました。

(賛成多数可決)

令和6年度

一般会計補正予算

3億9301万円増額

(万円未満四捨五入)

なお、今回の第7回目の補正予算案は、会期中に修正が生じたため、令和7年3月18日に撤回し、同日に修正した補正予算案が提出されました。

原因は、教育費の会計年度任用職員報酬において、積算の誤りにより令和6年度に必要な額を超えて減額してしまったことによるものです。

また、3月21日に追加で第8回目の補正予算案が提出されました。固定資産税の課税誤り返還金の予算に対し、基金を取り崩して充てたため、予算総額は第7回目の補正予算と同額となりました。



空調設備が待たれる体育館

熱中症予防及び避難所の環境改善のため、町内小中学校の体育館に空調設備を設置するもの。

3億5000万円

町内全小中学校
体育館に
念願の空調設備を
新設!!

【主なもの】

固定資産税
課税誤り分
を返還

6212万円

町内1事業所の固定資産税課税誤りが判明し、20年間遡及分となる約6212万円(加算金を含む)を返還するもの。

家屋の構造を誤って登録したことにより、固定資産税を29年間にわたり過大に徴収していたことが判明した。

条例制定

度重なる事務の誤りに対する責任をとり、町長の給料月額2割を3カ月間減額

(賛成多数可決)

今回の法人所有家屋に対する課税誤り及び補正予算額の計上誤りによる令和6年度補正予算の撤回が続けて起きてしまったことへの責任として制定されたもの。

議員定数を13人から10人へ 賛成多数可決(賛成10:反対2)

議員提出の議案

遠賀町議会議員定数条例の一部改正について

(賛成多数可決)

▽提出者 二村議員

▽提出賛成者 仲摩議員、

野口議員、松本議員、舩添議員、仲野議員

次回の一般選挙から議員定数13人を3人減とし、10人とするもの。

反対討論 萩尾議員

将来の多様な人材の確保や若者の選挙への参加を妨げる可能性がある。町民の多様な意見を吸い上げる議員が必要と考えている。

反対討論 田代議員

答申になっていない。何を慎重に協議したのか、意味不明である。町民の声を議会に反映させるためには、議員削減はすべきでない。

賛成討論 松本議員

前回の選挙は、200票台が5人という非常に低数で当選した。郡内を見ても400票前後が最低当選だ。定数を削減して、町民が関心を持ち投票に行く状況を議員からつくっていくべき。

賛成討論 野口議員

議員が多いという声をたくさん聞いた。10人の市町村にも行ったが、支障や問題は無い。人数が多ければ意見が多く吸い上げられることはなく、議員が活動を必死にやるのが大切だ。

賛成討論 濱田議員

議会運営委員会の答申に沿って2人減と考えるが、他議員の意見を聞くと3人減が現状維持かのどちらかなるので、3人減に賛成だ。

賛成討論 立石議員

議員定数削減には賛成。2人減が妥当と考えるが、今回反対すれば議員定数削減を実現できなくなる可能性があると思うので賛成だ。

賛成討論 二村議員

他の自治体を視察して、委員会構成の変更により10人で十分議会運営は担保できる。また3人減により議員報酬、その他議員共済費などの経費を全て年間約1600万円削減できる。

委員会提出の議案

遠賀町議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について

(賛成多数可決)

政務活動費の使途基準から広報・広聴費を削除するもの。

反対討論 萩尾議員

時代に逆行している。最低年1回くらいは、全員が政務活動費を活用し、町民に議員活動を報告する必要がある。

反対討論 田代議員

全く答申になっていない。何を協議したか書いてない。議員は、自分たちがやっていることをアピールすることが求められる。

賛成討論 仲摩議員

各議員が配布した広報を見ると、間違った内容や選挙違反になると見受けられる広報もあった。政務活動費としては妥当ではない。

賛成討論 二村議員

広報紙は、個人的な意見や主義主張も掲載する。「政務活動費は、議員による政策研究、政策提言等が確実に実行されるよう交付するもの」に当たらない。

これまでの経過

議長が議会運営委員会へ
諮問（令和6年4月）

議会運営委員会が答申
（同12月）

全議員へのアンケート調査結果や視察先の現状、県内各町村議会の調査結果等を踏まえ、慎重に審議した結果、次の結果となった。

1. 議員定数を2人減の11人にする
2. 政務活動費の使途基準から広報・広聴費を削除する
3. 費用弁償は現行通り支給しない

これを受け、全議員で構成する議員定数等調査特別委員会を設置（同12月）



議員定数等調査特別委員会 各委員の意見

定数について

1人減 中野議員

なり手不足という課題があり、本町を背負っていく人材が出てくるためには、1人減が今後のために良い。

2人減 立石議員

駅南開発で人口が若干増えることを考えると、大幅な削減は危険なのは。段階的に減らしていくことが妥当と考える。

2人減 濱田議員

諮問事項を受け、調査・検討した結果、議会運営や人口推移を考えて2人減が妥当と考える。

2人減 松尾議員

いきなり的大幅削減は、将来の多様な人材の確保や若者の参加を妨げる可能性もある。削減も簡単ではないが、増やす方が難しい。

3人減 仲摩議員

今後削減の議論が出ないようしっかりと減らすことで選挙が活発になる。また、これ以上減らすと議員の仕事が回らなくなる。

3人減 仲野議員

議長の公平性の担保から定数は偶数、町の予算規模から10人は必要。また、11人とした場合、再度定数削減を議論する必要がある。

3人減 野口議員

今後、人口が減少することを考えると、人口2千人に1人を目安に。委員会の活動は工夫が必要。また、無投票にしないためにも10人が適当ではないか。

3人減 松本議員

前回の選挙で投票率が低下したのは、議員定数との関係があるのではないかと。最低当選ラインが400票を超える定数が望ましい。

3人減 舛添議員

当初は2人減と考えていたが、委員会や振り分けも問題はないと思うので3人減でもやっていける。

現状維持 田代議員

町民の少数意見も含め広く議会に反映させるには、1人でも多くの議員がいた

方が良い。これ以上減らすと民意を反映しなくなる。

現状維持 萩尾議員

町民の多様な意見を吸い上げる議員が必要。また、今後女性議員を3人とするクオーター制度を考え、現状維持。



特別委員会の様子

特別委員会採決結果

1. 議員定数を3人減の10人にする
2. 政務活動費の使途基準から広報・広聴費を削除する
3. 費用弁償は現行通り支給しない

	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
会議名	議案名	議員名	仲摩	野口	田代	松本	立石	萩尾	濱田	松尾	二村	舩添	仲野	中野	織田
3月定例会	遠賀町国民健康保険税条例の一部改正について		○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遠賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遠賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町一般会計予算		○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和7年度遠賀町国民健康保険事業特別会計予算		○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	（議長）
	令和7年度遠賀町後期高齢者医療特別会計予算		○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度遠賀町一般会計補正予算（第7号）		○	○	▲	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	遠賀町長の給与の特例に関する条例の制定について		○	○	▲	▲	○	▲	○	○	○	○	○	○	
	遠賀町議会議員定数条例の一部改正について		○	○	▲	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	
	遠賀町議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について		○	▲	▲	▲	○	▲	○	○	○	○	○	○	



回答 日常生活に支障が出ないように消防団員報酬等を見直し、処遇の改善を行うとともに、訓練や年末警戒等のやり方を見直し、団員の負担軽減を図っている。

指摘 消防団員の確保については、団員が減少傾向にあるため、団員の確保に努められたい。

昨年の決算特別委員会で行った指摘事項の処理改善内容は、次のように報告されました。

**令和5年度
決算指摘事項
処理改善報告
あの指摘は
どうなった?**

第6回目の補正予算は、7億8560万円を増額し、予算規模は97億324万円になりました。

**令和6年度
一般会計補正予算
7億8560万円増額
(万円未満四捨五入)
(全員一致可決)**

1月31日に開催されました。

**1月
臨時会**

回答 精密検査の受診は義務ではないため、強制力はないが、対象者には重症化による家庭や職場へ及ぼす影響を自覚させ、受診勧奨を強化していく。

指摘 職員の健康診断については、要精密対象者となった職員の受診率の向上に努められたい。

【主なもの】

遠賀町内小・中学校全5校の体育館空調設備設置のための設計事業
1530万円

児童生徒の熱中症対策や避難所の環境改善をするため、空調設備設置の設計を行うもの。

物価高騰支援給付金
8875万円

物価高騰による家計圧迫を軽減するため、給付するもの。

○対象者
住民税非課税2400世帯およびその子ども500人

▽1世帯 3万円
▽子ども(18歳以下) 1人当たり 2万円

ふるさと納税(歳入)
当初予算の5億円から、4億5000万円増額補正し、9億5000万円とするもの。

委員会レポート



第二常任委員会学校訪問

令和7年1月29日に第二常任委員会の所管事務調査として学校訪問を行いました。長らくコロナで実施できなかつたため、約5年ぶりの学校訪問となりました。

児童各自のタブレット端末と電子黒板を利用した、先生と指導員による2人体制の授業は分かりやすく、児童も明るく楽しそうに学習していて、導入の成果は出ていると感じました。

見学後の校長先生たちとの意見交換会の中で、習熟度が不足している児童には、放課後や夏休みに補習などで対応しているとの説明がありました。

これは国が進めるGIGA構想（現代に合う学習環境を整備し児童生徒一人一人に最適化された教育の提供）でICT機器を利用した授業について、広渡小学校、浅木小学校の全クラスを見学したものです。



浅木小学校タブレットを使用した授業



広渡小学校授業見学の様子

最後に学校給食の試食をしました。限られた予算の中で工夫された給食をおいしくいただきました。



浅木小学校で給食を試食

議会広報常任委員会 行政視察

令和7年2月14日に、須恵町と大刀洗町に広報研修の視察に行きました。

両町は、町村議会広報全国コンクールで受賞歴があり、共通することは「町民が見やすい議会だより」という点です。

今回の視察では、一方的な講義形式ではなく、質疑応答などの意見交換を中心に、今後の広報編集作業に生かしていける話を多く聞くことができました。



須恵町での積極的な意見交換

また、広報紙をより良い紙面にするために、広報研修やレイアウトの変更なども積極的に進めており、本町でも採用できることも多くあり、考えさせられる研修になりました。この視察を生かし、町民にとって、より見やすい議会だよりを作れるよう尽力します。



大刀洗町議場にて

デジタル化推進特別委員会

デジタル化推進特別委員会は、計8回の委員会を開催し、本町議会における議会運営上のデジタル化推進について、慎重に調査・研究・議論を行なってきました。

タブレットの導入に関してはコストの問題があり、財源のない中、議会だけで進めることが難しいため、将来的な検討課題とし、現時点で取り組めるデジタル化として次の通りの結論に至り、調査が終了となりました。

○議会の情報共有ツールとして、企業向けチャットツール等を本町議会全体で活用することが望ましい。

○本会議を除くすべての会議において、会議に出席する者が個人で所有する情報通信端末機器の使用を認めることが望ましい。

Q

学童保育料を2人目から半額にした場合何世帯該当か

A

39世帯だ



のぐち くみこ
野口 久美子



子どもの居場所としての学童保育
(広小ひまわりクラブ)

学童保育料は2人目から半額に

議員 学童保育の保育料は、同一世帯で3人以上利用する場合、3人目以降を半額にしているが、現在該当しているのは何世帯か。

健康こども課長 2世帯だ。

議員 保育料を2人目以降から半額にした場合、該当する世帯は何世帯か。

健康こども課長 39世帯だ。

議員 このような制度があっても活用できる人が少なければ制度として生きているとは言えない。北九州市では、2人目から半額にしている学童もある。合計特殊出生率をみても、国の推計では、2024年では、1人の女性が生涯に産む人数は1.1人だ。利用料を半額にする制度を設けているのであれば、保護者にとって有益に働くように検討していくという必要はないか。

町長 2人目3人目の保育料金体系の変更は、保育園では先駆けて実施させていただいている。

議員 学童保育事業も保育の健全育成という面で一貫して保育をどう考えていくかという視点で保育園、学校と分けるのでなく学童も2人目以降半額にしていきたいと考えているがいかがか。

町長 第2子から半額とした場合実際、150万円程度の予算が生じる。確かに子育て支援、子ども応援という部分は待ったなしの状況だ。今回子育て支援の一つとして学校給食費補助を提案させてもらっている。全部一

議員 本町では学童保育

を利用できる条件に保護者の就労が規定されているが、保護者の就労に限定していない自治体もある。保護者が就労していない児童も受け入れていく考えはないか。

町長 本町の学童保育は国、県の補助金で実施している。この補助金の実施要綱では、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童とされている。現行の利用時要件を変更する予定はない。

議員 保護者の要望も変わってきていると認識している。学童の場を広く活用する考えはないか。
町長 学童保育自体が子どもの居場所作りになっているというところは間違いない。学童に通っていない子どもとの交流の場は、学童以外でも考えられると思う。現状は国、県の補助事業の中で実施しているので理解していただきたい。



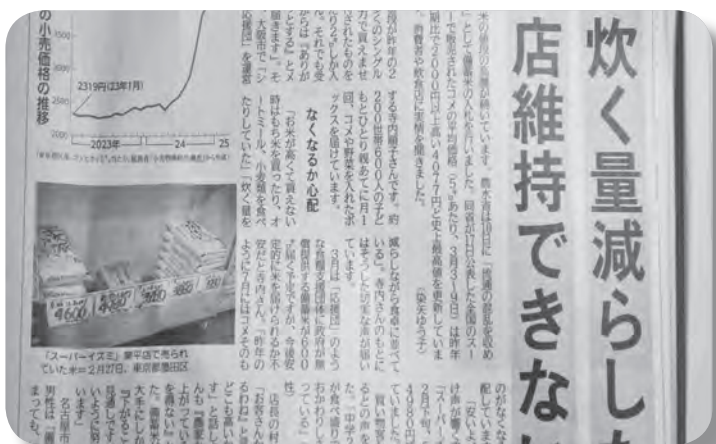
たしろ じゅん二
田代 順二



生活が「苦しい」が6割、 独自支援策実施の考えは



今までも独自支援策を行ってきた
従前からしっかりと考えている



米の平均価格5kg 4077円
史上最高値更新を報じる記事

国民生活基礎調査 約6割生活苦しい

議員 令和5年国民生活基礎調査では生活が「苦しい」と約6割が回答し、郡内では独自に課税世帯へ支援策を決定している。本町も独自支援策を実施する考えはないか。

町長 今までも議会の同意を得て、しっかりと地域の実情に合った形でのきめ細かな支援策を念頭において実施している。本町も、今後どのタイミングで皆さんに理解を得られる形で支援策をやっていくのかは、従前からしっかりと考えている。

子育て支援について 保育料の無償化

議員 保育料をすべて無償化する考えはないか。また、無償化した場合、必要な予算はいくらか。

町長 現時点において、無償化する方向にはない。令和5年9月から多子軽減のカウント範囲の拡大、令和6年9月から保育料の値下げなど先駆けてやってきた。無償化した場合、3366万円である。

の関係者、また、子ども若者にどのように周知し進めていくのか。

町長 遠賀町こども計画は、子どもに関わるすべての大人と当事者である子どもに周知が必要と考えているので、計画書本体に加えて子ども向けの概要版も作成し、幅広く周知を図る予定だ。

健康こども課長 約1100万円程度になる。

議員 低所得世帯やひとり親世帯に、粉ミルクや紙おむつの定期的な支援はできないか。

町長 特定の品目を限定して現物支援を行う方法より、真に必要なものを選択していただく商品券等の配布に決定した経緯がある。定期的な現物支援を行う考えはない。

遠賀町「こども計画」について

議員 こども計画を小中学校、保育所や幼稚園等

議員 中学校の校則も、「こども計画」にならって生徒の意見を聞いて見直すこともありうるのか。

教育長職務代理者 まず、生徒総会において生徒からの意見・要望を諮り、過半数の賛成で可決の場合、その見直し案を生徒指導部会で検討し妥当なら、職員会議にかけ異議がなければ次年度から改正、もしくは軽微な見直しなら直ちに改正する。

活動報告



町村議会議員研修会

令和7年1月10日、福岡県町村議会議長会主催議員研修会が、遠賀町中央公民館視聴覚室にて、リモートで行われました。

表題は「実現につながる一般質問の作り方」

講師は、元兵庫県議会議員、元伊丹市議会議員の相崎佐和子氏。



研修会の様子

まず、質問のパターン分析から入り、次に質問のネタの集め方、質問の情報収集、質問のロジックの組み立て方、ヒアリングでの交渉術、本番でのアナウンスのテクニック、質問を現実に導く心構えの順に講義が進みました。

質問のテクニックもそうですが、質問を実現に導くためには、首長の立場で考え、1回の質問で解決するのではなく、長期のスパンで逆算して実現を考えることの大切さを学びました。



佐賀県基山町議会 議会運営委員会 視察受け入れ

令和7年1月27日、基山町議会運営委員会の視察の受け入れを行いました。



意見交換をしている様子

基山町議会では、議員選挙が過去2回無投票となり、議員のなり手不足に頭を悩ませているとのことでした。本町では今年度議長からの諮問事項である議員定数、費用弁償、政務活動費の3項目について全員の議員で構成する特別委員会を設置し、協議をしている旨を伝えました。

議会の活動（2月～4月）

日程	本会議・委員会等
2月10日	議員定数等調査特別委員会
2月14日	議会広報常任委員会行政視察
2月21日	議会運営委員会
3月3～21日	3月定例会
3月3・21日 4月2・4・11・16日	議会広報常任委員会
4月2日	議会広報モニター連絡会議
4月21日	議会運営委員会
4月24日	4月臨時会

基山町議会の議員定数は13人でその内5人が女性議員。今後、女性議員を囲んでレディースミーティングが開催されるとのことです。現在、中学生議会や土日議会の開催もしているとのこと、今後本町でも議会の開催のあり方について、さまざまな工夫が必要と痛感しました。



議場での記念撮影

傍聴者の声



3月定例会には、延べ23人が傍聴にられました。傍聴者の声を一部紹介します。

学童の大事な問題に共感することが多く、若い保護者にとって大事な子どもの居場所を取り上げていただいて良かった。

質問された議員がきめ細かな情報収集をしていたので、現状がよく理解できた。

子育てが終わっている私にとって、学童保育、子育てなど、これからの遠賀町を担っていく若い世代が住みよくなっていくのを願って、議会を拝聴しました。



各議員の質問が具体的に町のニーズをよく反映していると思う。議員にも専門職がいると深く質問できると思う。町も丁寧に対応していると思う。

質問事項に対する行政の方針が理解できた。財政の問題もあり、さらに検討が必要だと思うが、少しずつでもよりよい遠賀町に発展していくよう期待している。

傍聴者アンケート

(回答者 15 人)

①年齢を教えてください

80代以上：33% 70代：40% 60代：27%

②お住まいについて教えてください

町内：93% 町外：7%

③議会に関する情報を何で知りましたか（複数回答）

議員から：73% その他（友人等）：20% 議会だより：7% ホームページ：20%

④傍聴した理由を教えてください（複数回答）

町議会や町政に興味がある：73% 議員の質問内容に興味がある：73%
議案に関心がある：33% 議員や知人に誘われた：20%

⑤議会・議員に期待することは何ですか（複数回答）

町民の声の反映：80% 積極的な政策提案：80%
町政へのチェック：53% 議会だよりの充実：27%
ホームページ等を活用した情報発信：27%

⑥また傍聴したい

100%



表紙写真募集！

遠賀町内の写真であれば、どなたでも応募できます。詳細は、遠賀町議会事務局へ電話または議会ホームページでご確認ください。

たくさんの応募お待ちしております。

TEL 093 (293) 1235

<https://www.town.onga.lg.jp>



表紙募集

次回の定例会は 6 月 です

詳しい日程は、5 下旬に遠賀町ホームページ
(<https://www.town.onga.lg.jp>) でお知らせします。

本会議の様子は、以下の場所でライブ中継を行います。
遠賀町役場・遠賀町中央公民館・

ふれあいの里センター・おんがみらいテラス
※遠賀町ホームページからも、視聴することができます。

若者と議会の懇談会（遠賀中学校 5 人、遠賀南中学校 5 人）

まず、おながみらいテラスにて駅南開発事業についての説明が行われ、生徒たちは土地区画整理事業の概要やこれまでの経緯、今後のまちづくりの方針について学びました。

次に食育交流・防災センターで備蓄倉庫を見学し、町が備えている防災用品や食料品について説明を受け、「災害時にどのように配布するのか」「賞味期限が近づいた食品はどうするのか」などの問題にどう対処するのか、防災への関心を高めました。



食育交流・防災センター見学の様子

その後、町長への表敬訪問が行われ、町長との意見交換では、生徒から健康や環境問題に関する「ワンヘルス」の考え方について質問があり、町長の説明に真剣に耳を傾けていました。

最後に、議場で議会の仕組みや議員の仕事についての説明を受けた後、実際の議場を使って、議員と中学生による質疑応答を実施。「議員になったきっかけは？」「選挙にはどれくらいのお金がかかりますか？」といった質問があり、議員も熱心に回答しました。

今回のバスツアーを通じて、若い世代が遠賀町の未来を考えるきっかけになったと思います。議員も刺激を受けた交流になりました。



和やかな雰囲気で行われた町長表敬訪問



あきえだ りこ
秋枝 莉子さん

今、遠賀南中学校は 1、2 年生で 70 人弱しかいないので不安でしたが、駅南開発のことを知れて、少し安心しました。自分もあと 6 年以上は遠賀町に住むと思うので、自分には今何ができるのか、どんなことを今からしていくのかを、これからも考え続けたいと思いました。



まえだ えいと
前田 瑛斗さん

駅南を開発することは聞いていましたが、実際に工事をしている様子を見て、しっかりイメージすることができたので良かったです。議員の皆さんも僕たちの質問に真剣に回答してくれて嬉しかったです。

発行責任者

議長	織田 隆徳
議会広報常任委員会	
委員長	松尾 啓太
副委員長	立石 紘一郎
委員	野口 久美子
	田代 順二
	松本 登
	萩尾 修身

町民の福祉と生活向上を図る新年度が始まりました。災害時などの情報を確実に伝達する戸別受信機を導入し、災害対策本部の機能を維持・強化し、庁舎を整備・集約化します。

また、開発が進む駅南地区の道路・水路の整備、学校給食費半額補助や商工会プレミアム付き商品券発行などの子育て支援と物価高騰対策、交通不便地域対策として乗合方式のデマンドバス有償実証運行も予定されています。

小中学校体育館の空調設備設置工事費も補正予算で計上されました。

田代 順二

あ
と
が
き